



2009～2010年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーの未来はあなたの手に

事務局・例会場 鹿児島東急イン
〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F
TEL 090-5295-2736
FAX 099-251-5290
例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

会 長 松田 泉
会長エレクト 前田 正幸
幹 事 井川 良仁
編 集 会報・広報委員会

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ <http://www.ri2730.org/southern/>

Vol. 14-42

第616回例会 平成22年5月27日(木) プログラム「GSE帰国報告 松尾志保さん」

前回第615回例会[5月20日(木)]の報告 於：東急イン

【会長代理挨拶】副会長 前田正幸

皆さんご存知のように、昨日は平恵子会員の告別式でした。

平会員は当クラブの2006～2007年度の会長や地区委員を務めるなど大変熱心にロータリー活動をされておられ、RIの国際大会にも度々出かけられるなど、その行動力には目をみはるものがありました。次年度も、国際委員長に自ら手を挙げられ、タイを訪問するのを楽しみにされておられたと思います。平会員の生前のご活躍に感謝と尊敬を表し、心から追悼の意を表します。

【会務報告】幹事 井川良仁

- ① 地区ロータリー研究会が6/5(土)13:30～15:30 かがしま県民交流センターにて行われます。前田会長エレクト出席予定。
- ② 任意団体であった「ロータリーの友事務所」が、3/25付で「一般法人ロータリーの友事務所」となったという報告が届きました。発行部数が減少しつつある厳しい状況の中で環境変化に即応するためにも財務の透明性を期するためにも法人化が必要であるという慎重な議論の結果です。
- ③ 第2回次年度理事・役員・委員長会議を5/27(木)18:30～サンデイズインにて行います。
- ④ ロータリー手帳が届いています。申し込まれた方は、1冊630円です。事務局まで。

【ゲスト】(卓話者) 松下敏幸様

松下敏幸レクチャーコンサート実行委員会委員 有村明子様

【バギオ基金寄付】5/20 森山隆治君

《次回(第617回)例会のお知らせ》

日 時：H22年6月3日(木) 12:30～13:30

場 所： かがしま環境未来館(城西2丁目1-5)

プログラム： 職場訪問例会

H22年5月17日(月)
ご逝去された当クラブ
会員平恵子君へ、
黙祷を捧げました。



ペンリレー⑥

会員名 右田省二

週報の「ペンリレー」の指名を受けた時に、入院中と聞いていた平さんのまさかの訃報の連絡をうけて、たいへん驚きました。平さんとは家も近く、ご一緒する機会が多かったこともあり、本当に身近な人を失った気がしております。タイの友好盟約クラブ、コンケン市のケンクーンロータリークラブへの訪問旅行やアメリカのロサンゼルスでの国際ロータリー年次総会への参加など思い出深い旅行をともに経験してきました。元気印の平さんとの印象が強かったので、サザンウィンドロータリークラブの皆さんも、さぞ驚かれたことでしょう。言葉足らずではありますが、ご冥福を祈りたいと思います。また、他の会員の中にも持病を抱えている方もいらっしゃるようです。かく言う私も生来気が小さいせいもあり、ストレスに弱い持病を抱えて生活しております。ですので、病気の話には関心があります。特に消化器系と血液関係には敏感になります。忙しくて気にしている暇はないと言いつつ気にかけています。皆さんと毎週元気な顔でお会いしたいものです。

とりとめのない話になってしまいましたが、次回は、赤塚先生にお願いしたいと思います。フィンランドの教育システムに詳しいとお聞きしました。よろしくお祈りします。



鹿児島サザンウィンドロータリークラブ

2009～2010年度 クラブテーマ 「善いことを思い 実行しよう！」

【プログラム】外部卓話

マエストロ・弦楽器製作者 松下敏幸様

「弦楽器製作・伝統の技を極める」

<プロフィール>

- ・1957年兵庫県生まれ
- ・1982年イタリア、クレモナに渡り、グラン・マエストロの工房でヴァイオリン製作を学ぶ。並行して82年～87年ロンバルディア州立学校、弦楽器修理課程、クレモナ国際ヴァイオリン製作学校卒業。
- ・1987年労働許可を取得、ViaMilazzo20に工房を構える。
- ・1998年より国立クレモナ・ヴァイオリン製作学校、マスターコース最終学年に日本人初めてのマエストロ講師として招かれる。その製作された楽器には、アマティ、ストラディヴァリウスをはじめとする古典イタリアン弦楽器への深い研究の成果が反映されており、音色の明るさと豊富な倍音の魅力が日本を始め欧米で高い評価を得ている。

イタリア、クレモナで生まれた500年の歴史を持つ弦楽器製作に使用される材料モミの木が、150年200年という長い年月をかけて、条件の満たされた土地と守られた環境の元で成長し、そして、その中から選びぬかれた木だけが使用され、それが製作者の卓越した技術、”手”によって楽器として生まれ変わります。そしてそれらの楽器は、人の一生よりも長い時間受け継がれ、演奏家の手によって音を奏で続けます。この事を考える時、音楽という人の営みが自然や長い歴史の中で生み出され、そして、受け継がれてきた事を証明しています。今日の卓話では、「何を・誰が演奏するか」という点に注目が集まる事が多い音楽の催しに、「ものづくり・製作家」という視点を加える事で、音楽を少し違った角度から眺めて、演奏を楽しんでもらえたら幸いです。

<受賞歴>

- 1988年 第5回クレモナ・アントニオ・ストラディヴァリ国際製作コンクール、ヴァイオリン・チェロ部門それぞれ銀メダル受賞。
- 1994年 第3回イギリス、マンチェスター開催、RNCM チェロ国際製作コンクール入賞。
- 1996年 第12回アメリカ・ニュー・メキシコ開催、VSA ヴァイオリン国際製作コンクールヴァイオリン部門優勝、ゴールドメダル。
- 2000年 第14回アメリカ、シンシナティ開催、VSA ヴァイオリン国際製作コンクールカルテット製作部門3位入賞。
- 2001年 アンタン国際弦楽器・弓製作者協会“EILA”のメンバーに任命される。
- 2004年 第3回パリ国際弦楽器製作コンクール、ヴァイオリン部門音響最優秀賞。ヴィオラ部門2位。銀メダル受賞。
- 2006年 第11回クレモナ、アントニオ・ストラディヴァリ国際製作コンクールヴィオラ部門2位。銀メダル受賞。

今までに修理・調整した代表的な楽器は、アントニオ・ストラディヴァリウス“PARK”1717年、同じく“LEDY LEY”1713年、及びジェゼフ・ガールネリウスデル・ジェズ“JEAN BECKER”1732年。チャロでは、ジェゼフ・ガールネリウス1698年が挙げられる。



出席報告	会員数	出席	出席率%
第615回5月20日(木)	50 (48)	30	62.50
第613回5月6日(木)訂正	51 (49)	42	85.71

市内他RCプログラム ★例会時間・場所等の変更(記帳受付あり)			
月日曜	RC	プログラム	例会場
5月28日(金)	鹿児島RC	鹿児島ロータリークラブ奨学生卓話 除川 創さん	山形屋
5月31日(月)	中央RC	次年度委員会別打合せ	山形屋
6月1日(火)	東南RC	地区協議会報告	ザロイヤルホテル
6月1日(火)	城西RC	ゲスト卓話 元鹿児島商業高校校長 児玉義人様	東急イン
6月2日(水)	南RC	外部卓話 伊藤学而ガバナーエレクト「エーゲ海ヨット旅」	ザロイヤルホテル
6月2日(水)	西RC	クラブ協議会(委員会活動報告)	山形屋
6月2日(水)	西南RC	新入会員の自己紹介・フリートーキング	ゆうづき
6月3日(木)	東RC	岐阜鶴飼例会 6/4(金)へ変更	山形屋
6月3日(木)	北RC	次年度クラブ協議会(各委員会活動方針発表)	東急ホテル